

み言葉は、

いのちの言葉

マタイ25.40

私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。

この愛から除外される人は誰もいません。もしお年寄りで病気の誰かがイエスなら、私たちはその人のために手を尽くさずにいられるでしょうか。難民の子に言葉を教えるなら、イエスに教えることです。

与えることによって与えられ

家の掃除をしてお母さんの手伝いをするなら、イエスを助けることになります。苦しむ人を慰めるなら、また自分を傷つけた人を赦すなら、私たちはイエスを愛し、イエスを助けることになります。相手に喜びを与えるだけでなく、自分自身ももっと大きな喜びを味わうことになります。与えることにより与えられ、心が満たされるのを感じます。気づかないかもしれませんが、私たちが心に喜びを感じるのには、イエスに出会ったからです。

差別しない愛

「あらゆる人の中に何らかの形でキリストがおられるなら、もはや差別したり、えり好みしたりすることもできなくなりました。」

「もはや同国人と外国人、お年寄りと若者、きれいな人とそうでない人、好感が持てる人、持てない人、裕福な人、貧しい人などという区別はなくなります。キリストがすべての人の背後、すべての人の内におられるからです。」

兄弟は、神様に至る道

「どの兄弟も本当に『もう一人のイエス』でした。」

「このように生きながら、兄弟は神様に至る道、いえむしろ、神様に出会うため避けては通れない門だ、と気づきました。」

切り取って折ってみよう。



私たちの経験



いのちです

コロンベ (コートダジュール)

与える喜び

友だちと歩いていた時、たくさんの荷物をもっている女の人に出遭いました。頭にはかご、両手には袋、背中に子供をおぶっていました。

子供はお腹がすいているようでしたが、お母さんは、たくさんの荷物があるために、お乳をあげることができないのかと思いました。「手伝いましょうか」と言うとても喜んでいました。

友だちは、私にどうして手伝ったのか、知っている人だったのかとたずねました。私は、知っている人ではないけれど、イエス様のためにしたのだと答えました。

私たちも似たような状況にであったことはない？

